

株式会社〇〇御中

代官山春花祭実行委員会
実行委員長 伴 文康

代官山春花祭 ご協賛のお願い

代官山では、代官山のまちという環境の質の維持・向上を目的とする地域活動として、「代官山春花祭(だいかんやましゅんかさい)」を2007年より開催してまいりました。

かつては閑静な屋敷町であった代官山は、1970年代頃から住宅地の中に商業店舗の立地が始まり、合わせてクリエイティブな業種の事業所の集積も始まったことによって、独特なまちの趣を形成してゆき、現在では、代官山というまち自体がブランド化しているような状況になりました。

人々がこのまちに惹き付けられる、その魅力の源泉である「文化性」、「創発性」、「洗練された佇まい」、「奥ゆかしさ」、「居心地の良さ」といった「代官山らしさ」が損なわれることなく、持続的に維持・継承されてゆき、結果としてまちとしての価値が高まってゆくことを目指してこの活動はおこなわれています。

新たに代官山で暮らす(住む、働く)人には、そこで暮らしている人々と出会い、その人々の意識の根底にある価値観、作法を感じ取り、「郷に入れば郷に従う」ことが出来るような機会や場所が必要です。

このまちが居心地の良いまちであり続けるためには、ここで暮らす住民、就業者、そしてこのまちを訪れる来街者が同じように、お互いを理解し合い、認め合い、思いやる関係で結ばれることが必要です。そのような良い関係を築いてゆくための一助として「代官山春花祭」は開催されています。

「まちの印象」は、そこで出会う人々が醸し出す雰囲気によって形成されます。まちの風情や情緒ともいえる「まちの印象」は、地域環境の価値に大きな影響を与える要素のひとつです。同時にそれは、まちの発展や成長を促す可能性の源泉でもあります。これを上質化し維持してゆくためには、このまちに関与している様々な立場の人々が協働することによって相互理解や共感を深めてゆくことが重要だと考えています。

まちの質的向上を持続してゆくためには、現在の環境を単に利用するだけでなく、並行して環境を育ててゆくアクションが求められます。よりよい環境を築いてゆくためのアクションとして「代官山春花祭」へのご支援を賜れば幸いに存じます。

代官山に深い関わりをもつ貴社におかれましては、「代官山春花祭」の趣旨・目的にご賛同いただき、ご協賛いただきたくお願い申し上げます。

代官山春花祭 2022 開催計画概要(予定)

- 開催日: 2022年4月29日(金・祝)・4月30日(土)の2日間
- 会場: 代官山コミュニティールーム周辺、ヒルサイドプラザ、その他
- 主催: 代官山春花祭実行委員会
委員長 代官山ステキなまちづくり協議会 理事長
- 後援: 渋谷区(予定)

ご協賛内容について

- ご協賛金については、代官山春花祭の全体運営費用、広報費用等に活用させていただきます。開催終了後、残金がある場合には、次年度開催費用の一部とするための繰越金とさせていただきます。
- 10口(100,000円)以上の協賛をお申込みいただいたご協賛企業様については、ウェブサイト等の広報ツールにロゴマークを掲載し、ご紹介させていただきます。
代官山春花祭ウェブサイト
<http://gw-daikanyama.org>
- ご協賛金は、2022年5月末日までに指定の代官山春花祭実行委員会口座宛てにお振込みいただきますようお願い申し上げます。
- ご協賛金振込口座
口座名義:代官山春花祭 運営委員長 石原貞治
銀行名:三井住友銀行 恵比寿支店 普通9052984

代官山春花祭 2022 協賛申込書

代官山春花祭実行委員会 行

「代官山春花祭」の開催趣旨に賛同し、下記のとおり「代官山春花祭」開催運営資金として寄付いたします。

2022年 月 日

| | |
|---------|--|
| 貴社名 | |
| 住所 | |
| ご担当者名 | |
| 部署・役職 | |
| 電話番号 | |
| メールアドレス | |

| | | |
|------|---|----|
| 協賛金額 | 口 | 円也 |
|------|---|----|

※一口 10,000 円

返信宛先

〒150-0033
渋谷区猿楽町 24-12 代官山アーガス 301
代官山春花祭運営委員長
石原 貞治

FAX: 03-3461-6576